

令和5年度第3回社会教育委員会議 概要

開催日時	令和6年3月25日（月）午後7時30分～
開催場所	市役所4階会議室
出席した委員	11名参加
出席した職員	社会教育課長・社会教育課参事兼課長補佐・社会教育課指導主事
資料	<ul style="list-style-type: none">・次第・社会教育委員名簿・中河内・南河内地区社会教育委員研究協議会（資料1）・令和6年度 教育委員会の主要事業計画と予算（資料2）・社会教育委員会議から選出されている委員からの報告（資料3）・令和5年度 柏原市成人式～はたちの集い～参加状況（資料4）・令和6年度 近畿地区社会教育研究大会「京都大会」（資料5）・令和6年度 社会教育団体等への補助金（当日資料）

会議の要旨について

1. 開会

出欠確認 ⇒ 11名出席（委員の過半数の出席を確認）

2. 議長挨拶

3. 議事

（1）中河内・南河内地区社会教育委員研究協議会

【事務局より説明】

令和5年12月21日（木）「中河内・南河内地区社会教育委員研究協議会」が開催された。この協議会は中河内ブロック（東大阪、八尾、柏原）・南河内ブロック（河内長野、狭山、富田林、松原、羽曳野、藤井寺、河南町、太子町、千早赤阪村）の市町村で構成され、各市における社会教育委員相互の交流を深め、連携を図るとともに、社会教育に関する諸問題について研究し、社会教育の発展に資することを目的としている。今年度は松原市が幹事市。

今回はまつばらテラス（輝）と図書館（読書の森）を見学。まつばらテラスはミズノグ

ループが運営する多世代が利用できる交流施設となっており、会議室、陶芸室、音楽室、フィットネスルームなどの設備がある。図書館（読書の森）は2020年に建替えられた池の上に建てられている図書館で、古墳をイメージして建てられている。室内のデザインも工夫されており、お洒落な図書館となっていた。

次年度は、八尾市が幹事市。詳細が決まり次第案内する。

【参加された委員より研究大会の内容について報告】

- ・委員：良い講演で歴史の勉強にもなった。図書館は本の配置等、工夫があり、利用しやすさを感じた。
- ・委員：立派な施設だった。統廃合や耐震工事などもあるが、柏原もがんばってほしい。学習室もスマホなどで予約可能。そういうシステムも取り入れ、充実させてほしい。
- ・議長：立派な施設で、学習室も利用者でいっぱいだった。講演も非常に興味深く、もっと聞きたい内容だった。

（2）令和6年度 教育委員会の主要事業計画と予算

【事務局より説明】

資料②が「教育委員会生涯学習関係における主要事業計画」となっており、教育委員会の社会教育課、文化財課、スポーツ推進課、公民館、図書館の新年度の主要事業計画となっている。予算は先週の議会の議決を得ており成立している。R5年とR6年の予算を比較し、予算が大きく増減しているところについて説明する。

- ・2ページ：「区分 市民文化の振興」「事業名 文化会館施設整備事業」前年度比約八百万円減少。「説明 竣工後25年以上が経過し、施設の老朽化等が目立つことから機能を維持することを目的として設備の更新を行う」とあるが、詳細はリビエールホールの空調工事及びトイレの洋式化に係る設計費用。昨年度22,066千円は小ホールの照明の操作卓の入替による費用。
- ・3ページ：「区分 文化財の保全と活用」「事業名 文化財保護対策事業」令和6年度が11,477千円。令和5年度が106,110千円。前年度比べて94,633千円減少。これは5年度に史跡清浄泉の保護対策工事があったため。
- ・4ページ：「区分 生涯学習の推進、生涯スポーツの振興」「事業名 体育施設管理費」令和6年度が45,666千円。令和5年度が34,607千円。前年度比11,059千円の増加。これはサンヒル柏原の委託業者が撤退後サンヒルのスポーツ施設の維持管理をスポーツ推進課が管理しており、施設の維持管理も併せて管理することとなり電気代等による経費が増加したため。
- ・4ページ：「事業名 体育施設整備事業」令和6年度が53,281千円。令和5年度が12,000千円。前年度比41,281千円の増。理由は、恩地川多目的遊水地の実施設計業務を行うことによる増となっている。昨年度実施した基本設計はイメージを明確にするためのデザインの設計であることに対して、実施設計は実際の工事を進めるための設計となる。

遊水地意見公募 R5年5月25日～6月20日。工事予定はR7・8年度 工事費3億5千万円。

- ・7ページ：「区分 図書館サービスの充実及び生涯学習の推進」「事業名 図書館運営費」令和6年度が77,762千円。令和5年度が68,372千円で9,390千円の増。これは事務補助員2名増員による人件費の増加。・・・大きく増加したところは以上。
- ・当日資料：令和6年度社会教育団体等への補助金一覧表。こちらの補助金についても、議会の議決を得ており成立していることを報告。1番「PTA 協議会」が95千円、2番「連合青年団協議会」86千円、3番「こども会育成連絡協議会」950千円、4番「青少年リーダー指導者会」350千円、5番「青少年健全育成協議会」3,113千円、6番「青少年指導員協議会」356千円、7番「体育協会」760千円、8番「スポーツ少年団指導者協議会」80千円、9番「文化連盟」760千円。
補助金については、本市の財政状況から増額は難しいが、同額を維持したい。

【各委員からの質疑】

- ・議長：文化センター改修工事についての予算はこれとは別か。
⇒工事はまだ先。現在、設計段階。今後、耐震化工事をし、リニューアルしていく方向で検討されている。
- ・副議長：第1回会議で担当課長より報告のあった恩地川遊水地について、今年度でできあがると言っていたものがあつたと思うが、その後の経過は。
⇒R7、R8の2か年をかけて工事予定。R9の4月にオープン予定。

(3) 社会教育委員会議から選出されている委員からの報告

- ・人権協会委員
4月末に憲法週間街頭啓発運動、5月末に総会、6月に男女共同参画フォーラム、8月5、6日に平和展、12月頭に人権週間啓発運動、12月9日人権を考える市民の集い。
- ・公民館運営審議会委員
5月の文化連盟祭出席、10月7日市民文化祭式典出席、7月27日会議(R5の活動について)
- ・青少年健全育成協議会
全体会議が3回、役員会が3回。3月の総会では、各会長が集まったが非常に積極的で、それぞれ地域への考えもしっかりもっておられ、協議も活発だった。
- ・放課後子ども教室推進事業運営委員会
運営委員会2回、交流会2回。全10教室で実施されている。どの教室もコロナ以前の活動に概ね戻っている。合計百数十回、スタッフはのべ500人超。参加児童も2000人超。(全て12月時点)お行儀教室、工作、ソフトボールなどに加え、ニュースポーツも盛んに実施されており、地域の方々が熱心に取り組んでくださっている。

報告事項

(1) 令和5年度 柏原市成人式～はたちの集い～参加状況

【事務局より説明】

令和6年成人式は、1月8日、リビエールホール大ホールにて開催された。主催者として社会教育委員からは北井議長、吉見副議長、織部委員が出席。更生保護女性会でお茶席を設置。谷敷委員が参加。お忙しいところ、ありがとうございました。

今年度、新成人対象者は男性380名、女性342名、合計722名。うち式典の参加者数は男性250名、女性230名、合計480名で参加率は66.5%。昨年度の参加率は68.9%で、参加率は若干減少している。

当日については、大きな事故等なく開催することができた。

【出席された委員より】

- ・副議長：出席者の多様化を感じた。相対的に落ち着いていた。社会教育委員は主催者となるので、できるだけ参加できると良い。
- ・委員：式は穏やかに進んでいたが、真摯な態度・姿勢ではないように感じた。けじめをもって、式に臨むことは大切なこと。それをきちんと大人が伝えたり指導したりすることも大事なことだと思う。
- ・委員：数年ぶりのお茶席。社会教育課の協力を得て、実施できた。約100人が飲んでくれた。声をかけても断られることも多く、お茶を飲むという経験がないように感じた。来賓の方々の入口は別になっており、ホワイエを通ることがなく、ふるまうことができず少し寂しかった。来年度も続けたい。

(2) 令和6年度 近畿地区社会教育研究大会「京都大会」

【事務局より説明】

令和6年度「近畿地区社会教育研究大会「京都大会」」について説明。対象者は市町村社会教育委員及び社会教育関係者。開催日は令和6年9月6日(金)。場所は京都テルサ京都府民総合交流プラザ。参加人数については3名としているが、参加希望多数の時は予算担当課と協議予定。研修における、参加料と交通費は事務局で負担。参加料は事前支払い。交通費は後日支払いとなる。詳細については決定次第追って連絡。

(3) その他、各委員からの報告と情報交換

【各委員からの報告】

- ・委員：青少年指導員広報誌配布。コロナ以前の事業に概ね戻せた。ただ、以前と同じではなく、今の時代に合わせて変化させていこうとしている。
- ・委員：PTA協議会では4年ぶりにスポーツ大会を行えた。広報誌にあるように、各校でも行事が戻ってきている。コロナを経て、それを機に変化しているところもある。PTA協議会では市内各PTA会長同士が横のつながりをつくり、情報交換をこな

がら進めようと話している。

- ・委員：「親と子のための教室」を各こども園で実施しているが、今年度はそれぞれの教室の回数を増やすとともに、4園合同を3回(内1回は3歳児のみ)、2園合同を2回実施することもできた。参加者には喜んでもらっていた。
- ・委員：190名の会員がそれぞれの地区の健全育成会に参画し、イベントやフェスタ、放課後子ども教室などへ参加している。各校区の活動は戻りつつあるが対外的な施設訪問などは、受け入れ態勢が出来ていない等の理由で実施できていない。60周年式典を終え、記念誌ができたので配布。
- ・委員：子どもたちのために活動下さっている各団体の皆様に感謝。地域の方々との交流を見ていると、柏原ならではの姿なのかと思う。こども会の休会などで少子化を間近に感じることもある。子どもの興味が多種多様になるのは良いことでもあるが、それにより地域活動が縮小されるのは残念にも思う。
- ・委員：親子教室や更生保護女性会や人権擁護委員など様々な活動に参加してきた。社会教育委員は今年度でおりることになるが、今後もさまざまな立場から柏原市のためにがんばりたい。
- ・委員：健全育成協議会広報誌配布。青少年健全育成に関わる様々な活動や行事をできるだけ見に行き、現場の様子や声を聞いている。これから柏原の社会教育に関わっていこうとしてくれている一回り年下の大人に対するアドバイスなどを心掛けている。大人を育成することで、子どもの育成につながっていく。大人同士が横のつながりを持ち、大人が楽しめることも大切だと皆さんに伝えている。健全育成会では、見守り活動やフェスタを各校区で実施することができた。コロナ禍で始めた花植え運動が今も続いているのもうれしいこと。今年度から始めた防災体験合宿では、危機管理課や消防の力を借りながら、いざという時に動ける貴重な経験を積ませることができた。たくましい子どもたちの育成を今後も行っていきたい。
- ・委員：市内各中学校でも行事などはコロナ禍以前同様に、活気を取り戻している。コロナが完全に収束したわけではないので、気をつける場面では気をつけながら、今後も教育活動を行っていきたい。また、数年ぶりの行事の際は、子どもたちや職員が戸惑うこともあった。今の時代や子どもたちに合った方法で実施していきたい。中学校では部活動の地域移行へと動いているが、まだまだハードルは高いように感じる。少子化により団体競技が難しい部分も出てきている。
- ・委員：市こ連60周年冊子配布。表紙等の絵画はこども会の子どもたちから集めている。こども模擬議会の様子も全てではないが紹介している。10年前と比較すると、市こ連加入こども会23単位⇒6単位。市内全児童数に占める加入児童の割合約16%→約5%。幅広い活動が難しくなっている。今年度末でさらに1団体減少する。大阪府全体でも市こ連がなくなった市町村もあるようだ。時代の流れとして、子どもたちの選択肢が広がっていることが減少理由の1つと考えられる。
- ・副議長：青少年指導員と主任児童委員という役割で、地域で活動している。主任児童委

員では学校園や福祉と連携しながら虐待等の情報共有を図っている。青少年指導員では健全育成会の活動等に参加し、地域の子どもたちと関わりながら、とても楽しく活動させてもらっている。

- ・ 議長：体育協会は全ての行事を実施できた。行事によっては、コロナを引きずって参加者数の減少が見られた。スポーツフェスティバルは天候にも恵まれ多くの参加者が来場された。スキースノボーツアーは石川県を予定していたが、北陸の地震の影響で中止の判断をした。マラソン大会は盛況で事故なく終えられた。その中で、どの団体の課題でもあるが、中心となる方の高齢化が進んでいる。後継者探しが難しい現状がある。

5. 閉会

副議長あいさつ